

生物の変遷と進化(2)

名前

1 下の文章は、水中生活をする魚類が、陸上生活をするほかのセキツイ動物に進化する過程で、からだのつくりや、生活のしかたがどのように変化したかをまとめたものである。以下の問いに答えなさい。

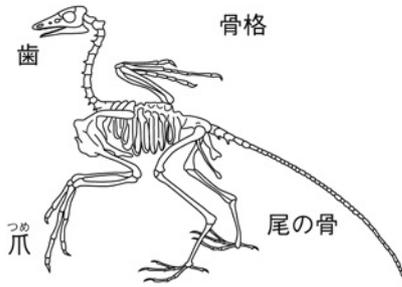
(1)	①	えら
	②	肺
	③	あし
	④	から殻
(2)	両生類	

- ・ ① 呼吸から ② 呼吸に変化する。
- ・ 水中で泳ぐためのひれが、陸上で移動するための ③ に変化する。
- ・ 乾燥に弱い ④ のない卵から、乾燥に強い ④ のある卵に変化する。

- (1) ①～④にあてはまる言葉を書きなさい。
 (2) セキツイ動物の5つのグループのうち、魚類が進化して出現したのは何類か。

2 右の図は、中生代の地層で発見された化石をもとにしてかかれた、始祖鳥の骨格と外見の想像図である。以下の問いに答えなさい。

■始祖鳥



- (1) 始祖鳥は、つばさ、羽毛、くちばしといった、鳥類の特徴のほかに、何類の特徴もあわせて持っているか。
 (2) 始祖鳥の持つ、(1)の特徴を2つ書きなさい。
 (3) 始祖鳥は2つのグループの特徴を持つことから、何類から何類への進化が起きたことの証拠であると考えられているか。
 (4) 現在地球上に生息しているセキツイ動物の中にも、始祖鳥のように、2つのグループの特徴を持ち、進化の証拠とされるものがある。そのような動物の名称を1つ書きなさい。

(1)	ハチュウ類	(2)	歯がある。	爪がある。
(3)	ハチュウ類	から	鳥類	へ (4) シーラカンス、ハイギョ、カモノハシなど